

海外クルーズ客船おもてなし事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	委託											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[3 楽しみを広げる]			関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
海外クルーズ客船を受け入れる地区が保安区域となるため、港湾管理者として必要な警備等を行う必要がある。						国際埠頭施設を一般開放する場合、管理者は当該施設の保安水準を低下させないための措置を講ずる必要がある。 (国際港湾施設の保安対策に関するガイドライン(改定)12章3)						
[事業目的]												
海外クルーズ客船の受け入れ態勢を整える												
[事業内容]												
クルーズ船寄港時対応 ・観光客の安全確保のため岸壁に警備員を配置し、バリケードを設置する。 ・保安区域内においてバス、タクシーの誘導を行う。 ・一般観光客の受付業務を行う。												
[受益者] クルーズ船乗船客						[想定される受益者数] 2,500人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況	他県のクルーズ船対応 富山県 クルーズ船受け入れのための施設整備済 wifi設備整備済 警備員配置、バリケード設置 石川県 クルーズ船受け入れのための施設整備済 wifi設備整備済 警備員配置、バリケード設置					

海外クルーズ客船おもてなし事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度	
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務							事業 区分
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	3,372				3,372								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移	2,337	11,249	6,239	6,239	3,372	寄港予定回数の減 R4：2回 → R5：1回							
2月現計予算額の推移	2,337			3,120									
決算額の推移	2,237												
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	海外クルーズ船寄港回数 (目標) (1) 実績 1	(4)	(2)	(2)	(2)								
活動指標	警備員配置人数 (目標) (20) 実績 20	(20)	(20)	(20)	(20)								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
新型コロナウイルスの影響により寄港中止				寄港予定回数に合わせて減額				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,867		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

敦賀港内航利用拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	補助金			経過年数					3 年			
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 新規貨物を獲得していくためには、物流ルートの転換が必要であるが、運送業者等にとって手間やコストがかかるため現状では、物流ルートを転換するのは難しい。						[問題・課題を表す客観的データ] R2年度のトライアルを実施した企業5社の試験的な運航経費は、約40万円程度の経費がかかる						
[事業目的] 既に定着した貨物ルートをもつ荷主および物流事業者に対して、試験的に敦賀港の利用を検討してもらうため、経費の一部を支援することで敦賀港を実際に利用してもらい、継続的な利用転換につなげたい。												
[事業内容] ○補助対象者 荷主企業・物流事業者○補助条件 ・敦賀港を利用した新たな物流ルート ・敦賀港の内貿(コンテナ船/RORO線/フェリ-定期航路)の利用貨物 ・												
[受益者] 荷主企業・物流事業者						[想定される受益者数] 補助事業者30社						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 敦賀港コンテナ物流トライアル事業 (役割分担) 外貿コンテナ貨物を対象に実施(企業誘致課)				
市町との連携状況						他県の状況		伏木富山港(外貿) 博多港(内貿・外貿) 鹿児島港(外貿) 秋田港(外貿)				

敦賀港内航利用拡大事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	R3 年度		事業終了 予定年度 (見直し年 度)	
事業実施方法	補助金					□ 法定受託事務			R3 年度 経過年数			R6 年度
補助率	1/2					□ 実行予算			3 年			
	□ 補助金		□ その他		事業開始 年度		国庫、その他財源の名称等					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,000				3,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			2,000	2,000	3,000	補助件数の増 R4：20件 → R5：30件						
2月現計予算額の推移			2,000	2,000								
決算額の推移			1,561									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	継続利用事業者数	(目標)	(10)	(10)	(15)			トライアルを実施した半数が敦賀港を継続利用することを目標				
		実績	13									
活動指標	補助件数	(目標)	(20)	(20)	(30)			令和4年度申請見込件数20件+潜在企業数10件=30件				
		実績	16									
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
令和3年度は16社が実施し、うち13社が次年度から継続的に利用もしくは、利用を検討している。令和4年度は20社が実施見込である。			令和4年度は20件の申請見込みがあるほか、利用見込のある企業が複数あるため、補助件数を20件から30件に増加させる。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

小型ジェット機による福井空港利活用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助金、直営											
補助率	回送費用：10/10、運航費用1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍での人との接触機会が少ない移動手段の確保 ・ 福井空港の利活用の促進 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期便の減便や国際線の休止 						
[事業目的]												
<p>新型コロナウイルスの感染症対策として、人との接触機会の少ない移動手段が求められている。一方コロナ禍により、航空需要が落ち込み、多くの航路で定期便が運航休止となっている。このため、空港到着後、待ち時間なく搭乗でき、国内ほぼすべての空港に直接運航できる小型ジェット機を活用して産業活動などの活性化を図るとともに、福井空港の利活用をつなげる。</p>												
[事業内容]												
<p>○ビジネスでの活用 県内企業が福井空港で小型ジェット機を利用する場合の経費を支援（回送費用：10/10、運航費用1/2）（3回分）</p> <p>○婚活での活用 県の結婚支援制度を利用して知り合ったペアを対象に遊覧飛行を実施し、思い出づくりにより仲を深め、結婚に結びつける（6回分）</p>												
[受益者] 民間企業、県民						[想定される受益者数] ビジネスでの活用：県内企業3社、婚活での活用：未婚のカップル24組						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況					他県の状況							

小型ジェット機による福井空港利活用促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助金、直営					□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	回送費用：10/10、運航費用1/2					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	12,054			(諸) 120	11,934									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				14,886	18,138	12,054	コロナ禍による社会情勢の変化を考慮した運航回数の減							
2月現計予算額の推移				9,689	7,998									
決算額の推移				6,697										
前年度までの 主な増減理由	航空機の大型化に伴う回送費用および運航費用の増													
[成果指標等の推移]														
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	利用回数	(目標)		(12)	(12)	(9)			ビジネス利用 3回 婚活利用 6回					
		実績		7										
活動指標		(目標)							ビジネス利用：企業訪問やHP、商工会議所等を経由した企業への周知 婚活利用：HP、地域の縁結びさんや市町等を経由したカップルへの周知					
		実績												
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価						
【前年度の実績（令和3～4年度）】 ・ビジネスでの活用：1回 ・婚活での活用：12回 【成果指標等の定量的評価】 <外的要因> ・新型コロナウイルスの影響による出張機会の減少により、ビジネスでの活用については 目標を達成できなかった。				コロナ禍による社会情勢の変化を考慮した運航回数の減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	6,084			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

空港振興委託事業（スカイフェス）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H4 年度 経過年数 32 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 福井空港の利活用促進						[問題・課題を表す客観的データ] 福井空港の着陸回数 H28 : 3,989件、H29 : 3,218件、H30 : 3,039件、R元 : 3,491件、R2 : 2,016件、R3 : 2,921件						
[事業目的] 空港の役割を広報啓発し、空港への理解を深める。												
[事業内容] 福井空港におけるイベント開催 ① 機体展示、デモンストレーション ② セスナ機およびヘリコプター体験搭乗 ③ JAXAによる研究開発展示												
[受益者] 県民、航空事業者						[想定される受益者数] スカイフェス来場者数 : 10,000人 (目標)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)					事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	富山県 富山きときと空港「空の日」記念イベント 石川県 小松空港「空の日」フェスタ のと里山空港「空の日」フェスタ					

空港振興委託事業（スカイフェス）

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H4 年度 経過年数 32 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	負担金					□ 法定受託事務						
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	4,000				4,000							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		4,000		4,000		4,000	H22より隔年開催（H30は国体と開催期間が重なるため開催見送り）					
2月現計予算額の推移		4,000		1,002								
決算額の推移		4,000		1,002								
前年度までの 主な増減理由	令和3年度は新型コロナウイルスの影響により中止											
[成果指標等の推移]												
区 分		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	来客数（単位；人）	(目標) 10,000 実績 8,000		(10,000)					ホームページやチラシ等により周知			
活動指標		(目標) 実績										
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価				
令和3年度は新型コロナウイルスの影響により中止				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

敦賀港鞠山南地区 2 期工事

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
敦賀港のふ頭用地不足の解消						<ul style="list-style-type: none"> ・ 内航フェリー、内航ROROの貨物量の拡大(147万tの増加→3.3ha必要) ・ 新規企業の利用(木質チップ)による貨物量の増加(25万 t →3.5ha必要) 									
[事業目的]															
敦賀港のふ頭用地不足を解消し、港湾機能の強化を図る															
[事業内容]															
<p>鞠山南地区多目的国際ターミナルにおいて、ふ頭用地を整備</p> <p>(整備内容) ふ頭用地造成 10.2ha (県事業)</p> <p>(参 考) - 14m岸壁 L=280m (直轄事業) - 9m岸壁 L=200m (直轄事業)</p>															
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数] 約300社									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況	伏木富山港 - 14m岸壁 金沢港 - 13m岸壁 舞鶴港 - 14m岸壁								

敦賀港鞠山南地区 2 期工事

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務							事業 区分
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	461,100		461,000		100	公営企業債							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移	1,007,000	848,000	1,151,160	1,333,480	461,100	工事工程計画に併せた減							
2月現計予算額の推移	955,000	805,000	1,091,000	1,133,000									
決算額の推移	784,643	634,421	530,046										
前年度までの 主な増減理由	工事工程計画に併せた増												
[成果指標等の推移]													
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績							令和9年度完成を目標に計画的に整備					
活動指標	(目標) 実績												
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価					
ふ頭用地の埋立および舗装、護岸の整備				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

敦賀港新多目的クレーン整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課		課長名	鳥山 公裕			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題] 平成3年の供用開始から30年が経過し、クレーン全体の腐食や老朽化が進んでおり、今後多額の修繕費が必要となってくる						[問題・課題を表す客観的データ] 老朽化しており、修繕費が増加 H30: 104,600千円、R元: 123,400千円、R2: 40,000千円、R3: 10,000千円 R4.6クレーンが故障し荷役に支障が発生									
[事業目的] クレーンに多額の修繕費が必要となる前に更新を行いたい															
[事業内容] 新多目的クレーンの整備 ・基本設計 ・詳細設計・受電設備等設計 ・製作・据付															
[受益者] 荷主企業、物流事業者、船社等						[想定される受益者数] 約300社									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況						他県の状況	金沢港 ガントリークレーン (平成17年、30年) 新潟港 ガントリークレーン (平成20年)								

敦賀港新多目的クレーン整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	港湾空港課	課長名	鳥山 公裕				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			3 年
補助率															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	590,000		590,000			公営企業債									
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	令和5年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移			10,600	13,780	590,000	本体製作を開始									
2月現計予算額の推移			10,600	13,780											
決算額の推移			10,288												
前年度までの 主な増減理由	受電設備等の設計を追加														
[成果指標等の推移]															
区 分	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績							令和7年度供用開始を目標に整備							
活動指標	(目標) 実績							令和7年度供用開始を目標に整備							
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和5年度の変更点				事業評価							
整備費を整理し、必要な機能等を検討				-				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					